

1 家族防災会議

ハザードマップや自宅の立地をもとに適切な避難方法や避難行動について話し合う。



新型コロナウイルス感染症が収束しない中における災害時の避難について(内閣府)
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

チャレンジできたら◎をしよう→



2 備蓄品チェック

非常時に持ち出すものをあらかじめ準備し、家族で話し合って、持ち出し品を決めよう。非常用持ち出し袋や食品、生活用品等がどれくらいあるのか調べ、日頃から備蓄に心がける。



3 防災散策

ハザードマップでチェックするだけでなく、家の周りの用水路や崖地、ため池など散策しながら災害リスクを把握する。地名や石碑にも土地の由来や災害史を学ぶことができる。



4 パッククッキング



動画あり

パッククッキングとは、ポリ袋(高密度)に食材を入れて、鍋で湯せんして加熱する調理法のこと。鍋の湯は繰り返し使用でき、袋のまま食べると食器洗いが省略できるので、節水することができる。



家族で考える 防災チャレンジ

地震や記録的な大雨による災害が全国で発生しています。家族の安全を確保するために、我が家にとって適切な避難行動を考えてみませんか。親子でできる防災工作(動画有)にもチャレンジしてみよう!

5 浸水防止:水のう袋



動画あり

ポリ袋を2重か3重にして、水をポリ袋の半分程度まで入れ、空気を抜いてきつくしばる。重すぎると動かせないので注意。段ボールやレジヤシートと組み合わせると効果的になる。



6 簡易トイレ



動画あり

排水できない場合は、便座を上げポリ袋を被せる。2枚目を便座の上から被せ、その中に新聞紙をちぎって入れる。使用後は、上のポリ袋を取り換える。



7 懐中電灯ランタン



動画あり

懐中電灯に白のポリ袋を被せて、取手を懐中電灯に結び付ける。ポリ袋全体に光が広がる。懐中電灯の上に水が入ったペットボトルを置いても光が広がる。



8 災害用伝言ダイヤル

被災者がメッセージを登録し、他の人がそれを聞く「声の伝言板」。「171」に電話して、録音や再生をすることができる。毎月1日、15日は体験できる。公衆電話の使い方体験してみるとよい。

